

ハクサンオミナエシ

Patrinia triloba (Miq.) Miq. var. *triloba*
スイカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が局限し、個体数が少ない。これまで奥越地方の3山域で確認されているのみである。

分 布

本州（北陸地方～東北地方）に分布する。県内では奥越地方で確認されている。

種の特徴

山地の岩場に自生する多年生草本。茎の高さは20～60cm。葉は茎に対生し、茎の下方の葉には長い柄がつく。葉の形は広卵形で、幅は3～10cm、掌状に3～5中裂し、裂片は歯牙または欠刻がある。花期は7～8月、花冠が5裂し、黄色の小花を集散花序につける。

生育を脅かす要因

産地が局限し、脆弱な生育地に踏み込み、採取等の環境圧を加えると生育環境が壊れやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○							○	

タカネマツムシソウ

Scabiosa japonica Miq. var. *alpina* (Takeda) Takeda
スイカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が局限され、個体数が少ない。これまで奥越地方の3山域で確認されているのみである。

分 布

本州（中部地方以北）、四国に分布する。県内では奥越地方で確認されている。

種の特徴

高山の風衝の激しい尾根等、やや乾いた草地や砂礫地に生育する。全体の丈は低く長い柄をもった根出葉があり、茎に対生する葉とともに羽状に裂ける。長い花柄の先端に1個の頭花をつける。頭花は径5cmで碧紫色、ときに淡紅色や白色もある。

生育を脅かす要因

産地が局限し、脆弱な生育地に踏み込み等の環境圧を加えると生育環境が壊れやすい。温暖化が生育環境の変化をもたらす。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

セリモドキ

Dystaenia ibukiensis (Y.Yabe) Kitag.
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は11箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が限られているため、県域準絶滅危惧とした。

分 布

本州の日本海側に分布。県内では、南越前町、福井市、大野市、勝山市、若狭町で確認されている。

種の特徴

山地に生える多年草。根は太い。茎は直立し、高さ30～90cm。節に長毛が出る。葉は2～3回羽状にわかれ、小葉は不規則に切れ込み、縁に短毛が出る。7～9月頃、複散形花序をつける。花は白色。果実は楕円形で、平たく、長さ3.5～8mm。

生育を脅かす要因

生育地の開発。植生遷移による生育環境の悪化。シカ等の獣害による影響、外来種との競合も新たな脅威となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○							○							○	○	○